



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和 7年 4月 1日

企業・団体名 株式会社ミヤモリ

代表者名 宮森 穂

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和 6年4月1日（宣言日又は令和6年4月1日）～令和7年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】 廃棄される繊維くずの再利用方法の研究・確立 【実施状況】 富山県の産学官オープンイノベーション推進事業費補助金を活用させて頂き繊維くずから脱臭剤、顔料を作る研究を行い、成果物としてそれぞれが完成。当該補助事業2年目に向け繊維くずからエネルギーを作る研究を継続する。
2	【目標】 廃棄される衣類をリペアもしくはリメイクしてウェアのロングライフを目指す 【実施状況】 B2Bとして大手メーカーから衣類のリペア作業委託を受け、廃棄ではなく修理で長く着て頂くことに貢献。B2Cとして令和6年12月に小矢部三井アウトレットパークにリペアセンターを開設し、ウェアのリペア・リメイク事業を開始。
3	【目標】 ミヤモリが掲げるサーキュラーエコノミーモデルの構築（量産～リペア～繊維炭の循環） 【実施状況】 社内若手社員を中心に事業を構築すべく分科会を設け、コンサル会社も入れながら進めている。その内容が評価され富山銀行主催の”富山県SDGsグランプリ”を受賞。また、特許庁のIOPENプロジェクトのHPに動画としてその活動が掲載される https://www.i-open.go.jp/。

※宣言日（ウェブサイト掲載日）から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。